

県議会情報 ~ 3.11 地震の被害〔液状化〕の状況

【第4回 東日本大震災復旧・復興対策特別委員会】 8月10日 午前10時~午後2時(休憩1時間)

議題

- 1、 今回の液状化による被害状況と対応について
- 2、 液状化対策のこれまでの取り組みと今後の対策につ



千葉県内でもこんなにたくさんの被害がありました。

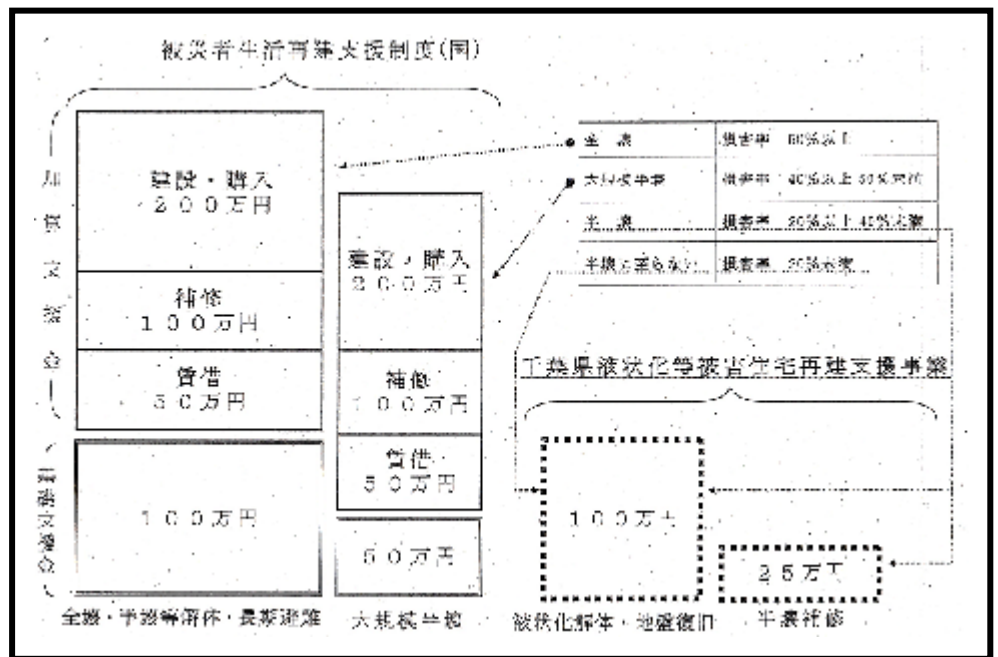
- 1、 今回の液状化による被害状況と対応について
公共施設など

| | 施設 | 被害箇所 | 被害状況 | 対応状況 |
|---------|---------------|----------------------|--|---|
| 県土整備部管理 | 県管理道路 橋りょう | 10路線 13か所 | 路面沈下・隆起、歩道部破壊 橋脚基礎変形・破損 | 安全確保の応急工事を実施 原形復旧を基礎として液状化対策と 早期に復旧工事に着手 |
| | 河川施設 | 3河川6か 所 | 護岸・堤防の倒壊・損壊・沈下 など | 液状化対策を講じた復旧(側方流動の 抑制・堤防の基礎の地盤改良) |
| | 海岸保全施設 | 1か所(浦 安海岸) | 護岸の損壊・沈下 | 地盤改良による液状化対策を講じた 復旧 |
| | 港湾施設 | 港湾道路 7路線 荷捌き地他 | 沈下・隆起 舗装の沈下・亀裂など | 早急に復旧工事に着手 国庫負担対象外のため検討中 |
| 企業庁管理 | 道路 | 幕張・習志 野・船橋・ 浦安 | 車道・補導の隆起・陥没、亀裂、 歩車道境界ブロック傾斜など | 安全確保の応急復旧工事。現在、測 量・調査など、本復旧工事に向けての 準備作業中 |
| | 護岸・突堤 | 船橋 市原 | 護岸の傾き・突堤の破損など 防波堤の一部沈下・航路標識一 部破損 | 立ち入り禁止箇所及び簡易標識灯設 置などの応急対応。本復旧工事に向け ての準備作業中。 |
| | 公園・緑地 | 習志野 浦安 | 駐車場の隆起・U字溝破損 フェンスの倒壊 | 応急復旧工事及び立ち入り禁止 |
| | 下水道 | 浦安 船橋 | マンホールの隆起 汚水管のマンホール内汚水滞留 | 本工事に向けて準備作業中 |
| 農林水産部管理 | 土地改良施設 | 2337か所 | 農地・水路・農道・用排水機場 など | 排水路の復旧工事实施 他は復旧方法について地元と調整中 |
| | 農業集落排水施 設 | 15か所 | 損壊 | 応急処置及び復旧工事实施 |
| | 水田 | 約740ha | 液状化 | 営農技術対策、農地の再生等の支援 |
| | ハウス | 55件 | ゆがみ・損壊 | 復旧対策中 |
| 教育庁 | 県立学校 | 17高校 2特支学校 | 土砂の噴出、地盤沈下による埋 設管の破断・公社土間部分の損 壊・グラウンドの亀裂・防球ネ ットの支柱の傾斜など | 順次復旧作業中 * 県立浦安南高校・香取市立新島中 学校は他校の校舎を使用中 |
| | 市町村立学校 | 27小中校 1高校 9幼稚園 | | |
| | 私立 | 4高校 23幼稚園 | | |

| 施設 | 被害箇所 | 被害状況 | 対応状況 | |
|------|-----------|---|-----------------------------|-----------------------------|
| 警察 | 免許センター | | 敷地の埋没・排水管破損など | |
| | 警察署 | 行徳・浦安 | 敷地の陥没・給排水管破損 | |
| | 交番 | 浦安 千葉西 | 傾斜 10 度(使用不能) 傾斜 3 度 | 建て替え予定 |
| | 宿舎 | 6 か所 | 敷地の陥没・給排水管断裂、床の抜け落ちなど | 2 か所は解体廃止予定 |
| | 交通安全施設 | 189 信号機 235 標識等 | 倒壊・傾斜(全体の 68%が浦安市) | 年内復旧予定(一部液状化の激しい地域は復旧時期は未定) |
| 県立公園 | 幕張海浜公園 | 上下水道破損、遠路など亀裂・陥没 | 応急工事实施。本復旧工事早期に着手 | |
| 県営住宅 | 6 市 13 団地 | 住棟本他は耐震化完了のため大きな被害はない。一部ポンプ室。建物周囲の舗装、給排水管被害 | 応急復旧完了。年度内本復旧をめざし設計・工事発注準備中 | |
| 上水道 | 906 件 | 排水管接合部分の抜け出しなど | 11 月に国庫補助金にかかる査定 | |
| 下水道 | 15 市町 | 2 万 4300 世帯で下水道使用不可 | 仮復旧実施。本復旧工事早期に着手 | |

液状化等の被害世帯の発生状況(戸建・集合住宅)と被災支援制度

| 市町村名 | 液状化発生世帯数 |
|-------|----------|
| 浦安市 | 30,985 |
| 習志野市 | 4,504 |
| 香取市 | 2,544 |
| 千葉市 | 1,195 |
| 旭市 | 825 |
| 船橋市 | 806 |
| 我孫子市 | 454 |
| 千葉県全体 | 42,467 |



一定の要件を満たす場合、県と市町村と合同で利子補給を実施。市町村が超 1%の利子補給を行った場合、1%相当を県が補助する。実施市町村 (H23 年 7 月現在) 銚子・市川・旭・浦安・匝瑳・山武各市と富里・栄・神崎・多古・東庄九十九里各町 (検討中は 18 市町村)

2、今後の対策

「東日本大震災千葉県調査検討専門委員会」の助言、提言や県議会での議論を踏まえ、市町村と連携し、液状化の調査、研究を実施、年内を目途に液状化危険度マップの作成を行う。

8 月 23 日現在、県支援金の支給額は 19 件、約 1,150 万円。支給は住宅再建に向けた地盤の復旧などが条件とのこと。また、国の支援は全壊・大規模半壊に限られます。

地盤復旧には 500 万円以上かかるそうで、支援金以外の地盤復旧・建て替え等の支出は個人にかかるので、被災者の年齢や、二重の負債など、難しい問題も多いと思います。

川本さんは、公共賃貸住宅の充実を基本とした住宅政策を根本的に見直す良い機会だと言っています。

